

事務事業分析シート（平成19年度）

No1

事務事業名	都市計画道路補助331号線(測量費)		部課名	土木部道路課	課長名	小椋 茂雄
			担当者名	大湊 亮	内線	2734
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	都市計画道路補助331号線（32-35-81）					
事務事業の種類	○新規事業（○19年度 ○18年度） ○建設事業 ●それ以外の継続事業					
開始年度	○昭和 ●平成		年度	根拠	都市計画法	
終期設定	●有 ○無		年度	法令等		
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ○区独自基準			計画区分	●計画 ○非計画	
行政評価事業体系	分野	安全安心都市[VI]				
	政策	利便性の高い都市基盤の整備[12]				
	施策	都市計画道路の整備[12-02]				
目的	都市の骨格的な道路ネットワークを形成するとともに、都市の防災性向上に寄与することを目的とする。					
対象者等	関係権利者					
内容	・用地測量は、用地取得等に必要な資料及び図面を作成する。 ・補足測量は、確定した土地境界点の管理等に必要な図面の作成及び確定した境界点を再確認する。 都市計画道路 延長：230m 幅員：22～25m					
経過	平成14年度 都市計画決定 現況測量 平成15年度～ 用地測量・補足測量					
必要性	用地取得等のための資料作成、図面の作成及び土地境界点を維持・管理するため、用地測量・補足測量を行う。					
実施方法	（○直営 ○一部委託 ●全部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ・委託件名 都市計画道路補助331号線用地測量及び補足測量委託 ・委託先 (株)関東エンジニアリング ・委託料 2,814,000円（実績 1,381,208円）					

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	予算額		7,499	5,870	5,326	9,748	5,643	6,878
	①決算額（19年度は見込み）		6,371	574	1,048	4,687	1,381	6,878
	②人件費					9,050	9,821	
	【事務分担量】（%）					105	115	
	合計（①+②）	0	6,371	574	1,048	13,737	11,202	6,878
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	0	6,371	574	1,048	13,737	11,202	6,878
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	地形測量 (ha)		2.7					
	用地測量 式			1			1	
	官民境界確定延長 (m)				88	145	73	
	路線測量 (m)			280				

事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	光熱水費	ガソリン	54	ガソリン	0	ガソリン	
	一般需要	消耗品・印刷製本	245	消耗品・印刷製本	136	消耗品・印刷製本	
	役務費	登記所コピー代	6	登記所コピー代	10	登記所コピー代	
	委託料	測量委託	4,374	測量委託	1,381	測量委託	4,831
	委託料		9			地歴調査委託	1,176
	公課費	自動車重量税					

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
①	用地測量（％）	—	—	45	90	100	H20年度用地測量完了をめざす。
②	官民境界確定率（％）	55	72	90	90	100	
③							

（問題点・課題分析）	・H20年度事業認可に向けて境界確定作業を実施する。 ・関係権利者との合意を得る必要がある。
他区の実況	（実施 19 区 未実施 3 区） 未実施区 千代田区、中央区、台東区

問題点・課題の改善策検討		
	平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	事業に対し協力していただけるよう、地道に交渉を重ねる。	早期の事業化が可能になる。
②		
③		

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
A	A	南千住地域の東西線を結ぶ、極めて重要な道路整備である。

況議 （要質 問問 状状）	H18年一定 ・331号線の現在の進捗状況について。 ・西口再開発事業と連携して事業促進を図るべき。
------------------------	--

事務事業分析シート（平成19年度）

No1

事務事業名	306号線道路整備費		部課名	土木部道路課	課長名	小椋 茂雄	
			担当者名	坂本 一章、大沢 孝幸	内線	2738、2734	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	306号線道路整備費（33-10-50-01）						
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ● 建設事業 ○ それ以外の継続事業						
開始年度	● 昭和 ○ 平成 62 年度		根拠	都市計画法、道路法、電線共同溝の整備等に関する特別措置法			
終期設定	● 有 ○ 無 19 年度		法令等				
実施基準	● 法令基準内 ○ 都基準内 ○ 区独自基準			計画区分	● 計画 ○ 非計画		
行政評価事業体系	分野	安全安心都市[VI]					
	政策	利便性の高い都市基盤の整備[12]					
	施策	都市計画道路の整備[12-02]					
目的	都市の骨格的な道路ネットワークを形成するとともに、都市の防災性向上に寄与することを目的とする。						
対象者等	都市計画道路補助306号線						
内容	- 道路の新設・拡幅整備 延長:1,361m(第一期区間:549m、第二期区間:812m) 幅員:14m - 電線類の地中化整備 ＊18年度より「都市計画道路補助306号線」事業を統合 ＊地方道路整備臨時交付金						
経過	- 平成 6年度～14年度：第一期区間の整備(旭電化通り～都電通り) ⇒完了 - 平成15年度～19年度：第二期区間の整備(都電通り～明治通り)						
必要性	安全で快適な街づくりを進めていく上で必要不可欠な事業である。						
実施方法	（○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託） （直営の場合 ○ 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員） <18年度> ・道路整備工事(第二期区間中央①部分) …19年度へ一部明許繰越 ・電線共同溝整備工事(第二期区間南部分)						

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	予算額	180,272	230,082	174,152	437,310	281,961	316,691	185,035
	①決算額(19年度は見込み)	105,700	115,378	129,991	307,125	191,459	173,735	185,035
	②人件費					12,756	24,030	
	【事務分担量】(%)					148	303	
	合計(①+②)	105,700	115,378	129,991	307,125	204,215	197,765	185,035
	国(特定財源)	30,000	19,500	18,480	34,925	28,050	50,600	28,600
	都(特定財源)							
	その他(特定財源)		399	1,336	7,545	4,341	2,430	
	一般財源	75,700	95,479	110,175	264,655	171,824	144,735	156,435
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	道路整備(m)				160		357	375
	電線共同溝整備(m)	36.5			640	400	186	
	引込管路等(m)					1,130	375	186

事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	委託料	電線類引込管・連係管設置工事委託	50,513	電線類引込管・連係管設置工事委託	28,665	電線類引込管・連係管設置工事委託他	22,481
	委託料	測量委託・調査委託	3,459	測量委託	2,406	測量委託	2,185
	工事請負費	電線共同溝設置その他工事	117,296	道路整備工事	142,940	道路整備工事・案内標識設置工事	162,430
	負担金補助及び交付金	下水道工事負担金(第二期南側部分)	23,650				
	補償補填及び賠償金	占用物移設補償費	0	占用物移設補償費	0		

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
①	道路整備の進捗率(%)	47.50	47.50	72.50	100	(19年度完成)	施工延長／総延長(1,361m)
②							
③							

(問題点・課題分析)	・19年度内の竣工に向けて、東京都水道局・下水道局、東京電力、N T T等の各企業者との綿密な工程調整が必要である。
他区の実況	(実施 19 区 未実施 3 区) <未実施区> 千代田、中央、台東

問題点・課題の改善策検討		
	平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①		
②		
③		

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
B	B	平成19年度完成を目指して整備中である。

況議 (要 質 問 状)	H17年四定：まちの景観とともに防災上もこの上ない効果の高い電線類地中化を都市計画道路以外の区道にも広げて実施すべき
--------------------------	--

事務事業分析シート（平成19年度）

No1

事務事業名	107号線道路整備費		部課名	土木部道路課	課長名	小椋 茂雄	
			担当者名	新井 豊、大沢 孝幸	内線	2738、2734	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	107号線道路整備費（33-15-50-01）						
事務事業の種類	○ 新規事業（○ 19年度 ○ 18年度） ● 建設事業 ○ それ以外の継続事業						
開始年度	○ 昭和 ● 平成 14 年度		根拠	都市計画法、道路法、電線共同溝の整備等に関する特別措置法			
終期設定	● 有 ○ 無 21 年度		法令等				
実施基準	● 法令基準内 ○ 都基準内 ○ 区独自基準			計画区分	● 計画 ○ 非計画		
行政評価事業体系	分野	安全安心都市[VI]					
	政策	利便性の高い都市基盤の整備[12]					
	施策	都市計画道路の整備[12-02]					
目的	都市の骨格的な道路ネットワークを形成するとともに、都市の防災性向上に寄与することを目的とする。						
対象者等	都市計画道路補助107号線						
内容	- 道路の拡幅整備 - 第一期区間：延長 360m、幅員 10m → 15m(拡幅) ⇒完了 延長 120m、幅員 10m → 15m(拡幅) ⇒事業中 - 第二期区間：延長 307m、幅員 15m → 20m(拡幅) ⇒事業中 - 電線類の地中化整備 ＊18年度より「都市計画道路補助107号線」事業を統合 ＊都市再生推進事業費						
経過	- 平成14年度～18年度：第一期区間整備(補助90号線～南千住6-34) - 平成18年度～21年度：第二期区間整備(南千住6-34～日光街道)						
必要性	安全で快適な街づくりを進めていく上で必要不可欠な事業である。						
実施方法	（○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託）（直営の場合 ○ 常勤 ○ 非常勤 ○ 臨時職員） <18年度> - 道路整備工事（第一期整備区間） - 電線共同溝整備工事（第二期整備区間第3工区） - 電線共同溝引込管路等設置工事委託（第一期整備区間北部分）						

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	予算額	0	6,402	24,885	174,142	180,005	220,817	79,041
	①決算額（19年度は見込み）	0	6,195	22,022	100,596	162,267	184,079	79,041
	②人件費					15,083	16,088	
	【事務分担量】（％）					175	210	
	合計（①+②）	0	6,195	22,022	100,596	177,350	200,167	79,041
	国（特定財源）				21,000	25,000	3,050	10,000
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）					1,688	1,583	1,616
	一般財源	0	6,195	22,022	79,596	150,662	195,534	67,425
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	道路整備(m)						360	
	電線共同溝整備(m)				360	360	295	300
	引込管路等(m)					640	750	

事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	委託料	電線類引込管・連係管設置工事委託	45,103	電線類引込管・連係管設置工事委託	31,282		
	委託料	測量委託・調査委託	2,343	測量委託・調査委託	1,683	測量委託・調査委託	2,271
	工事請負費	電線共同溝設置及び街築工事	117,164	道路整備工事	151,064	電線共同溝整備工事	71,253
	補償補填及び賠償金	占用物件移設補償費	0	占用物件移設補償費	0	占用物件移設補償費	5,460

指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
①	道路整備の進捗率(%)		0.00	45.70	45.70	45.70	100 (21年度完成)	施工延長／総延長(787m)
②								
③								

（問題点・課題）	・第二期区間の一部に未買収用地(平成19年6月現在)が残っている。 ・難視聴(電波障害)ケーブルの所有者から電線共同溝への参画の意志が得られていない。 ・日光街道の交差点改良に関して、道路管理者である国土交通省との協議が整っていない。
他区の実況	（実施 19 区 未実施 3 区） <未実施区> 千代田、中央、台東

問題点・課題の改善策検討		
	平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①	平成19年度の用地取得を目指すとともに、日光街道側から順次施工を進めることとする。	着実な施工により、予定通りの竣工が可能となる。
②	難視聴ケーブルの所有者に対し、電線共同溝への参画を引き続き交渉していく。	電線類が全て地中化されることにより、快適な道路空間が確保できる。
③	国土交通省に対して、平成19年度に設計協議、平成20年度に施工協議を目指して交渉を進める。	日光街道との円滑な道路線形による接続が確保される。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
B	B	平成21年度完成を目指して整備中である。

況議 （要 旨） 問 状	H17年四定：まちの景観とともに防災上もこの上ない効果の高い電線類地中化を都市計画道路以外の区道にも広げて実施すべき
--------------------------	--

事務事業分析シート（平成19年度）

No1

事務事業名	321号線道路整備費		部課名	土木部道路課	課長名	小椋 茂雄	
			担当者名	大湊 亮	内線	2734	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（19年度）	都市計画道路補助321号線（32-25-50）						
事務事業の種類	○新規事業（○19年度 ○18年度） ○建設事業 ●それ以外の継続事業						
開始年度	○昭和 ●平成 8年度		根拠	都市計画法			
終期設定	○有 ○無 年度		法令等				
実施基準	●法令基準内 ○都基準内 ○区独自基準			計画区分	●計画 ○非計画		
行政評価事業体系	分野	安全安心都市[VI]					
	政策	利便性の高い都市基盤の整備[12]					
	施策	都市計画道路の整備[12-02]					
目的	都市の骨格的な道路ネットワークを形成するとともに、都市の防災性向上に寄与することを目的とする。						
対象者等	関係権利者						
内容	- 延長 1,150m 幅員 25m～30m - 土壤汚染状況調査は、地歴調査の結果(H15年度)、用地買収のため土壤汚染状況調査を行う。 18年度より「321号線道路整備費」事業へ統合						
経過	平成8年度 都市計画決定 平成9年度～平成14年度 用地測量及び補足測量（第一期区間） 平成10年度 第一期区間事業認可（8月13日） 平成11年度～ 用地測量及び補足測量（第二期区間 430m） 平成14年度 第二期区間事業認可（10月15日）						
必要性	用地取得等のための資料の作成、図面の作成及び土地境界点の維持・管理をするため補足測量が必要である。						
実施方法	（○直営 ○一部委託 ●全部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ・委託件名 都市計画道路補足測量委託 ・委託先 (株)ユニオン・エンジニアリング ・委託料 881,055円（実績 173,145円） ・委託件名 都市計画道路補助321号線土壤汚染状況調査委託 委託先 (株)東京環境測定センター ・委託料 2,247,000円						

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	予算額	1,119	3,191	1,552	1,913	1,722	5,737	2,353
	①決算額（19年度は見込み）	613	3,045	471	436	1,659	2,819	2,353
	②人件費					8,619	3,416	
	【事務分担量】（％）					100	40	
	合計（①+②）	613	3,045	471	436	10,278	6,235	2,353
	国（特定財源）							
	都（特定財源）							
	その他（特定財源）							
	一般財源	613	3,045	471	436	10,278	6,235	2,353
実績の推移	事項名	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
	基準点測量	9	42	0	0	0	0	
	境界点標示測量	80	72	41	53	0	14	
	登記用図面作成	1	0	7	3	0	3	

事務事業分析シート（平成19年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成17年度（決算）		平成18年度（決算）		平成19年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般需要費	消耗品・印刷製本	0	消耗品・印刷製本	0	消耗品・印刷製本	0
	役務費	土地鑑定、登記所コピー代	0	土壌汚染状況調査委託	2,247	土壌汚染状況調査委託	1,491
	委託料	測量委託、土壌調査委託	0	測量委託	173	測量委託	862

指標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
			16年度	17年度	18年度	19年度	目標値 (22年度)	
①	境界点標示測量（箇所）		53	0	14	40		成果箇所数
	② 土壌汚染状況調査		0	0	0	1	完了	買収予定地（箇所）
	③							

（問題点・課題）	・未買収部分について関係権利者と調整中である。 ・東京ガス用地については、今後調整を図って行く。							
他区の実況	（実施 19 区 未実施 3 区） 未実施区 千代田区、中央区、台東区							

問題点・課題の改善策検討		
	平成20年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
①		
②		
③		

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
C	C	南千住地域を南北に結ぶ重要な路線であるが、計画線内に一部土壌汚染の問題があり、慎重に進める必要がある。

議（要旨）	
-------	--